

## 令和 6（2024）年度 資源評価調査状況報告書（拡大種）

### クロアワビ日本海

対象水域	日本海	参画機関名	水産研究・教育機構 水産技術研究所 沿岸生態システム部、水産研究・教育 機構 水産資源研究所 底魚資源部、秋 田県水産振興センター、山形県水産研 究所、新潟県水産海洋研究所、富山県 農林水産総合技術センター 水産研 究所、石川県水産総合センター、福井 県水産試験場、京都府立農林水産技術 センター 海洋センター、兵庫県立農 林水産技術総合センター 水産技術 センター、鳥取県水産試験場、島根県 栽培漁業センター、全国豊かな海づく り推進協会
------	-----	-------	--

- ・ 令和 5 年度資源評価調査報告書を公表済み（[https://abchan.fra.go.jp/wpt/wp-content/uploads/2024/03/trends\\_2023\\_223.pdf](https://abchan.fra.go.jp/wpt/wp-content/uploads/2024/03/trends_2023_223.pdf)）、次回令和 8 年度を予定

#### (1) 調査の概要

- ・ 機構は生物情報収集調査および各府県漁獲情報の集約を実施
- ・ 各府県は漁獲統計調査を実施
- ・ 全国豊かな海づくり推進協会は府県別放流数の集約を実施
- ・ 本年度は資源評価調査報告書の作成は行わず、漁獲統計等の更新および関連情報の収集を実施

#### (2) データ収集状況

- ・ 秋田県では2020～2023年の月別漁法別漁獲量を収集済み\*
- ・ 山形県では2020～2023年の月別漁法別漁獲量を収集済み\*
- ・ 新潟県では2020～2023年の月別漁法別漁獲量を収集済み\*
- ・ 富山県では2020～2023年の月別漁法別漁獲量を収集済み\*
- ・ 石川県では主要10港の2012～2023年の月別漁法別漁獲量を収集済み\*
- ・ 福井県では2020～2023年の月別漁獲量を収集済み\*
- ・ 京都府では1990～2023年の月別漁法別漁獲量を収集済み\*
- ・ 兵庫県では1971～2023年の月別漁獲量を収集済み\*
- ・ 鳥取県では2011～2023年の月別漁法別漁獲量を収集済み\*  
一部漁場について2021～2023年の月別漁法別種別漁獲量を収集済み
- ・ 島根県では2020～2023年の月別漁法別漁獲量を収集済み\*

2020～2023年の月別漁法別種別漁獲量を収集済み

- ・令和6年能登半島地震の影響を受けた石川県を除く農林水産統計による2023年の対象海域内のアワビ類\*の漁獲量（暫定値）は68トンであり、2022年より6トン減少
- ・2023年のアワビ類\*の漁獲量に占めるクロアワビの割合は、島根県調べによる全県の漁獲量で64%、鳥取県調べによる鳥取県の一部漁場で90%であった

\*他のアワビ類（エゾアワビ、メガイアワビなど）も含まれる

### (3) 生物学的特性

- (1) 分布・回遊：令和5年度資源評価調査報告書を参照 ([https://abchan.fra.go.jp/wpt/wp-content/uploads/2024/03/trends\\_2023\\_223.pdf](https://abchan.fra.go.jp/wpt/wp-content/uploads/2024/03/trends_2023_223.pdf))
- (2) 年齢・成長：同上
- (3) 成熟・産卵：同上
- (4) 被捕食関係：同上

### (4) 備考

- ・多くの地域で、集計では他種と合算されており、精査が不可欠
- ・人工種苗の放流が行われており、2022年には富山県、石川県、福井県、京都府、兵庫県、鳥取県、島根県の7府県で合計2,129千個を放流
- ・令和6年能登半島地震の影響により、2023年のアワビ類の漁獲量（暫定値）には石川県のデータは含まれていない